

目 次

I. 総括研究報告	
運動失調症の医療水準、患者QOLの向上に資する研究班	1
研究代表者 小野寺 理	
II. 分担研究報告	
ポリグルタミン病に対する蛋白質凝集阻害薬の第II相試験	11
小野寺 理	
Sez6l2抗体陽性免疫介在性小脳性運動失調症についての検討に関する研究	13
矢部 一郎	
家族性脊髄小脳変性症の遺伝学的背景と診断までの期間の解析	14
青木 正志	
伸長GGCCTGリピートを導入したSCA36細胞モデルにおけるG-quadruplexを標的とした治療候補化合物の探索	18
池田 佳生	
ランゲルハンス細胞組織球症(LCH)/ Erdheim-Chester病は運動失調症の重要な鑑別疾患である	19
石川 欽也	
中小脳脚sT1w/T2w ratioはMSA-Cと遺伝性脊髄小脳失調症の鑑別に有用である	22
桑原 聡	
運動失調症の患者レジストリJ-CATの運用と活用	23
高橋 祐二	
多系統萎縮症、歯状核赤核淡蒼球レイ体萎縮症の臨床評価スケール、自然歴歯状核赤核淡蒼球レイ体萎縮症の角膜障害について	25
戸田 達史	
CANVASにおける線維束性収縮と運動ニューロン障害	26
田中 章景	
多系統萎縮症の早期診断と突然死の予測システム開発	28
渡辺 宏久	
脊髄小脳変性症における上肢運動失調の定量評価に関する研究	30
勝野 雅央	
特発性小脳失調症の病態解明と治療へのアプローチ	33
下畑 享良	
特発性小脳失調症の自然歴の解明に関する研究	35
吉田 邦広	
脊髄小脳失調症における振戦治療の分子生理学的解析	36
丸山 博文	
多系統萎縮症における人工呼吸器治療による突然死への影響について	37
二村 直伸	

運動失調症患者における客観的生理学的診断指標の開発（自律神経機能検査）	38
花島 律子	
RFC1反復配列伸長を伴う ataxic neuropathy の臨床像	39
和泉 唯信	
南九州地域を中心とした小脳性運動失調症におけるRFC1遺伝子解析	40
高嶋 博	
運動失調症の医療基盤に関する調査研究	43
瀧山 嘉久	
特定疾患治療研究事業により登録された運動失調症の症例解析について	44
金谷 泰宏	
小児期発症小脳性運動失調症の臨床的・遺伝的解析および脳画像学的研究	47
佐々木 征行	
脳表へモジデリン沈着症の実態	48
高尾 昌樹	
脊髄小脳変性症の運動失調とADLの改善に寄与する短期集中リハビリテーション介入の 特異的要素に関する調査研究	50
宮井 一郎	
運動失調症のバイオマーカーの開発	52
永井 義隆	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	53